

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)								
事業名	日本芸術院会館施設整備 (復興関連事業)		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	文化部芸術文化課		芸術文化課長 舟橋 徹		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文部科学省設置法第32条 日本芸術院令		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年3月11日(金)に東北地方太平洋沖で発生した地震に伴い、日本芸術院会館等も震度5強程度の地震で大きく揺れ、その後の断続的な余震の影響もあり、講堂の床及び支柱並びに回廊内外壁等に罅が入り、南側万年塀の一部が倒壊、またガス管が破損しガス漏れが生じるなどしたため、その復旧を行うもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・講堂の床を張り替え、支柱に入った罅を補修する。 ・会館回廊支柱及び壁に入った罅を補修する。 ・会館南側万年塀の一部が崩壊したため万年塀を撤去し、新たにフェンスを新築する。 ・地中にある破損したガス管を交換する。 ・傾いた受水槽を改修する。 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			35	-		
		繰越し等			▲ 18	18		
		計			17	18	-	
	執行額			14				
	執行率 (%)			81.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	日本芸術院会館の地震で壊れた部分を改修等し、適正な維持管理を行う。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	罅等が生じた日本芸術院会館講堂床等を改修した。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	14	18
					()	()	(35)	()
単位当たりコスト	31,741,029(円/式)		算出根拠	X:総工事費28,906,500円+東京都への土地占有料181,629円+産業廃棄物等処理料168,000円+事務室書棚転倒防止措置料51,450円+改修後の会館設備配線等図面整備料997,500円+マス格子補修料924,600円+日本芸術院賞授賞式用備品等の安全な場所への移動整理料511,350円 Y:工事一式				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計			※ 平成23年度限りの経費				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	毎年、天皇后両陛下の行幸を仰ぎ恩賜賞・日本芸術院賞授賞式や、所蔵作品公開展示、講演会等を行っている施設であり優先度の高い事業である。 一般競争入札(簡易型総合評価落札方式)を実施した結果、不用額が発生したものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札を実施し、競争性を確保している。 契約相手方への直接支出のみであり、事業実績に基づき適正に支出している。 地震被害の復旧に必要な事業費に限定支出している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	他の手段と比較して実行性の高い手段を仕様として行っており、成果目標に対して達成している。 整備対象施設は、恩賜賞・日本芸術院賞授賞式の他、所蔵作品展や講演会などを行っており、十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	業務完了時には、文部科学省文教施設企画部の竣工検査を行った上で、支払をするため、支出先・使途の把握を行っている。今後、一者応札とならないよう、公告期間の延長または、必要条件を充足した上で仕様書の要件の見直しを図る。また複数者が応募できるよう、応募条件等の見直しを検討する。		
予算監視・効率化チームの所見			
	平成23年度限りの経費 本事業については、予算の一部を平成24年度に繰り越しているが、当該予算が東日本大震災からの復旧・復興のための経費であることを鑑み、引き続き早期執行に努めるべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成23年度限りの事業である。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	復興-0051

※平成23年度実績を記入

施設施工庁費 3百万円含む

日本芸術院
14百万円



【一般競争入札・請負】

A
株式会社中秀工業
14百万円

東日本大震災に伴う
地震により損傷した日
本芸術院会館の復
旧・復興工事の実施

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに 最大の金額 が支出されて いる者につい て記載する。 費目と使途の 双方で実情 が分かるよう に記載)	A.株式会社中秀工業			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	東日本大震災に伴う地震により損傷した 日本芸術院会館の復旧・復興工事の実施	14			
	計		14	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社中秀工業	東日本大震災に伴う地震により損傷した日本芸術院会館の復旧・復興工事	14	1	99.8%